

## 第4回 加茂市総合計画審議会会議録

日 時：令和3年5月28日（金）13：00～17：00

場 所：市役所5階 全員協議会室

出席者：会 長	出口 高靖	職務代理	乙川 智子
委 員	木戸 信輔	委 員	堀内 大祐
委 員	石附 孝子	委 員	山田 宗
委 員	山田 喜良	委 員	中山 勇
委 員	金澤理久夫	委 員	外石 栄子
委 員	中林 功一	委 員	安達 里枝
委 員	曾根 亮子	委 員	櫻井美奈子
委 員	加藤はと子	委 員	渡邊 明子
委 員	海津 恵美	委 員	森田 佑介

欠席者：委 員 阿部 貴行      委 員 中山 正栄

事務局：企画財政課

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

- ・ 基本構想（素案）について
- ・ 基本計画（素案）について
- ・ その他

4. 閉 会

13時00分 開会

○企画財政課長 皆さんお疲れ様です。企画財政課長の車谷です。本日はお忙しい中お集まりいただきまして大変ありがとうございます。これより第4回加茂市総合計画審議会を開催いたします。

初めに配布資料の確認です。事前に資料を配布しておりますので、別紙2,3が本日お配りした資料です。不足等ありましたら、事務局までお声掛けください。

本日は委員20名のうち18名の方にご出席いただいております。定員の半分以上を超えており、定足数を満たしていることをご報告申し上げます。中山正栄委員、阿部貴行委員からは欠席の連絡をいただいております。

それでは出口会長にご挨拶を頂戴したいと存じます。よろしくお願いいたします。

[会長 挨拶]

○企画財政課長 それでは本日の議事に入りたいと思います。

審議会条例第4条第2項の規定によりまして、会長が会務を総理することになっておりますので、会長に議長をお願いしたいと思います。出口会長よろしくお願いいたします。

○議長 それでは進行させていただきます。よろしくお願いいたします。

議事に先立ちまして、本日の審議会の議事録の確認者を決めたいと思います。第4回については山田喜良委員に確認をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

[山田喜良委員 了承]

○議長 議事録の確認を後日お願いします。

本日本日予定されている議事は、「基本構想（素案）について」と、「基本計画（素案）について」の2件です。議事に入ります。

今回事前に配布されている基本構想（素案）は2月の審議会と3月の市議会での意見を踏まえて検討・修正して示されたものです。本日の審議会を経て来月の1カ月間パブリックコメントが行われます。市民の方から意見を聞く案として、良いのかをチェックしていただきたいと思っております。

議論の進め方として、基本構想全体を通した説明の後に章ごとに意見を伺いたいと思っております。皆さんのお手元に5月14日版の基本構想（素案）を開いていただけますでしょうか。

○議長 この基本構想（素案）について事務局から説明をお願いします。

[事務局が説明]

○議長 1つずつ皆さんに意見を聞いていきたいと思っております。

まず1ページ目「序章 計画策定にあたって」ご意見やご質問ありますでしょうか。

○議長 最後にもう一度、全体を通して意見をお聞きします。

○議長 次に3ページ目「第1章 加茂市の目指す姿」です。

前回の審議案から大幅に変更されており、将来像についてはシンプルになっています。別紙1の修正案を見ていただくと、事務局案としてA案とB案が出ています。事務局はA案

の方がよいと考えていますが、ご意見はありますか。

○委員 A案の方は「未来につながる」という部分があるの後の「人々の笑顔があふれるまち」に係ると思うのですが、「笑顔があふれるまちができる」と「未来につながる」のどちらに重点が置かれるのかはつきりしないと思います。B案は文章としても素直ですし、私たちが考えている、笑顔あふれるまちが続くという意味合いを強く表せると思います。私はB案の方を推したいと思います。

○議長 他にご意見はありますか。

○委員 質問ですが、B案の「持続可能なまち」という表現は、いわゆるSDGsを意識していますか。

○企画財政課長 笑顔あふれるまちが持続可能ということで、SDGsの考えに一致する部分もありますが、そういったことを具体的に表しました。

○議長 将来像については大幅な修正を加えてありますので、全体を通じて将来像の修正案について伺いたいと思いますが、ご意見はありますか。

○委員 A案もB案も人々の笑顔があふれるまちをつくりたいということで、「未来につながる」という文言をどのように入れるかが問題だと思います。私はB案を「未来につながるまちができる」とすればよいと感じました。「持続可能な」という表現を入れないほうが文章的にも頭に入ってくると思いました。

A案のほうは「未来につながる」の部分が、「未来につながる人々の笑顔」なのか、あるいは「未来につながる人々」と繋がるのかがよくわかりませんでした。

○議長 「人々の笑顔があふれ、未来につながるまちができると考えます」ということでしょうか。

○委員 未来につながることに持続可能であることは一緒であると思うので、ここはすっきりとさせたほうがよいと思いました。

○議長 他にありますか。基本構想ではこの将来像がポイントになるとしますので、ご意見をいただきたいと思います。

○委員 まちの将来像は「笑顔あふれるまち 加茂」で示されていて、その後に繋がる「将来像に込めた思い」がこの修正案で示されています。

修正案について前半は市民の立場から、後半は行政の立場からという説明があったような気がします。その辺りがよくわからなかったので教えていただきたいと思います。

また、A案とB案について協議していますが、これはここに入る文言なのか、それとも将来像に込めた思いを一言で表すものかがよくわかりませんでした。

○企画調整係長 前半部分は、行政が目指すところになります。(1)、(2)のところにポイントを置いて笑顔あふれるまちをつくっていくことを前半部分で示しています。

そして、行政だけで健康や教育、文化に重点をおいての取組を行っていても笑顔あふれるまちはつukれないということで、市民の方々にも協力していただきたいということを後半部分で示しています。どのようなことに協力していただきたいかを3つの黒丸で挙げ、以

下の文章へ続いていく形になっています。

また、庁内で議論をした際に、ただ笑顔あふれるまちができるだけでなく、それが未来に繋がっていくというようなニュアンスを付けたいということになりました。様々な表現が出ましたが、審議会で2案を提示し、どちらの案にすれば笑顔あふれるまちが未来につながっていくイメージを出せるかを協議していただくことになりました。

○議長 案として枠で囲まれています、実際はこの枠はありません。また、文中の「この3つ」は3つの黒丸で挙げた内容を示しています。

○企画財政課長 将来像を前回案からコンパクトにして、その下に具体的な説明を入れる形を取っていますので、他とは構成が異なっています。

○企画調整係長 ここでは結論を先に持ってきているので、その後に説明が続く形になっています。できる限り役所の文章らしくならず、市民の方が読みやすいように工夫をしたつもりですが、そのようになっているかご意見をいただければと思います。

○議長 皆さんが理解できないような建付けであれば、市民の方もわからないと思いますので、この部分をわかりやすくしてほしいという意見があれば言っていただきたいと思います。今は基本構想の3ページ目にはまちの将来像しか載っていませんが、この下に全文が入ります。皆さんもそのようにイメージしていただきたいと思います。

私は読んでいくつか気になることがあります。『「笑顔」があふれるまち、そんなまちをつくります。』とありますが、「そんなまち」というのは書くときには使わないと思いますが、ここは事務局がこだわっているところですか。

○企画調整係長 ここは語りかけるような表現を意識しています。

○議長 話すときには言います。書くときにはあまり使いません。

○企画調整係長 違和感がありますか。

○委員 私は柔らかく、わかりやすい文章だと思いました。

○委員 目的をもって書かれていて、そこに意味があるわけですからよいと思います。

○議長 他にはどうですか。

○委員 ここが他と違うのは、ここが大事と伝わるのでよいと思います。

しかし、ここを(1)、(2)とすると他と違いがないので、(A)、(B)や(ア)、(イ)にするとよいと思いました。

○委員 文章は馴染みやすくよいと思います。黒丸と括弧の使い分けには何か意味があるのではないかと思います、この(1)(2)は優先順位があって付けたのでしょうか。同列のものであれば丸でもよかったと思います。

○企画調整係長 書き言葉で書かないことと、ポイントを箇条書きでわかりやすくしたかったためであり、点でも丸でも四角でも何でもよかったところではあります。明確な理由があって括弧を用いたことではありませんので、もし何かわかりやすくするためのアイデアがあれば教えていただきたいと思います。

○委員 (1)、(2)と黒丸3つを右ページのように四角で囲んでみてはいかがでしょうか。

一番上の文章は柔らかく市民に語りかけているので、箇条書きの部分を四角で囲むことで意識を一旦そこで止め、そこから再び「行政の取組だけでは～」という語りかけに戻り、そしてまた 3 つの箇条書きを四角で囲むことによって意識が集中するのではないかと思います。また、見た目の上でも、右ページとのバランスがよくなるのではないかと感じました。

○委員 この将来像に込めた思いの (1)、(2) は順位があるのかという話があったと思いますが、右ページと左ページを見比べたときに、右ページでは (1) 教育、(2) 健康となっています。左ページではそれが逆になっているので、矛盾ではありませんが違和感があります。

また、将来像に込めた思いの中で重点的に取り組むことを 2 つ挙げていますが、次のページへ進むと 6 つ柱があるのが少し気になりました。

○議長 上で重点的に取り組むと書いているので、この文章上では一番インパクトが強いと思います。ページ上部が行政を主体と考えたとき、それ以下「また、～」からは市民も主体ということです。そうしますと同列に扱うべきではないように思います。

○企画調整係長 将来像では健康、教育、文化のみであるのに対し、右のページではその他の様々な分野が出てくるというご指摘についてですが、名前の通り総合計画なので全般について定める必要があります。その中で市としてはここに重点を置きたいということで将来像に込めた想いで 3 つを挙げました。

左のページで (1)、(2) と優先順位があるように表記してあるが、右のページでは順序が逆転しているというご指摘ですが、(1) の説明で書いていますが、まず健康を挙げてから教育や文化を挙げたほうがわかりやすいかと考え順番を付けました。そのため右のページと順番が逆転しているのは、ご指摘の通りです。

○企画財政課長 (1)、(2) の表記は審議会のご意見を含めて検討させていただきます。

○委員 四角の中の「加茂市の誰もが」の部分について、誰もがというと行政と市民の両方を表しているように見えますが、ここは市民に語りかけているところですか。

○議長 この部分については事前に事務局と議論をしたのですが、「誰もが」よりも「市民が」という表現にしたほうがよいかという話をしました。

○企画調整係長 行政と市民に分けたくないという考えで、ここではこのような表現をしました。会長にも事前にご指摘を受けたのですが、市民と行政と分けて書くどうしても堅くなるように感じましたので「誰もが」や、最初の文章の「加茂市に暮らす人」といった表現を使用しています。

○委員 「誰もが」という表現の意図は理解しましたが、これを読んだ時に「行政はどうなったのか？」と感じました。やはり市民と行政というように分けて書いた方がわかりやすくなると思います。

また、「行政が重点的に取り組むこと」「市民にお願いしたいこと」というようなタイトルを付けると、一目見て誰が何をするのがわかりやすくなると思います。

それと、先ほどの右ページの 6 つの項目が左ページでは (1)、(2) の 2 つに絞られているという意見に私も賛成します。前回では記載されていた「つながり」や「支え合い」とい

うものが今回はそぎ落とされていると感じたので、私の一案ですが、たとえば(3)「安心して暮らせる」を作って防災や産業などの他の項目をそこにまとめられるようにするとよいと思います。

最後に表現について「行動することが求められます」という部分をもう少し能動的で、こちらの熱意を伝えられるような表現のほうがよいと思いました。

○**企画財政課長** 事務局案としてはこの3点を重点的なものとして考えていました。行政の行うことは全般に渡っていますので、基本目標については様々なことを盛り込んでいますが、その中で特に重点的に取り組むことを将来像のところで3つ表現しています。

○**委員** 何をもって重点的なものとして選ばれたのでしょうか。

○**企画財政課長** 策定委員会等で話し合う中でこういった形になりました。

○**議長** この文章には、『笑顔になるのは「人」、つまり「人」を中心に何が大切かを考え、次のことに重点的に取り組みます。』とありますが、「人」ということで健康と教育を挙げているのでしょうか。

○**企画財政課長** 人づくりということです。

○**委員** 私は人生の質を高めていくことだと解釈しました。健康でなければ、生きがいを感じながら自分の足で歩いて生涯を全うすることができませんし、教育も人の心を豊かにするものと思います。そういった面ではともに人生のクオリティ・オブ・ライフを高めるものと解釈しました。

また、行政の方がやりたいのならそれでよいと思います。言い出すときりがないので、行政の方が「これでやりたい」というものでよいと思います。

○**議長** 委員がおっしゃったことは福祉政策だと思いましたが、現在では福祉政策と都市政策は統合されているとも言います。たとえば、歩けるまちをつくることで健康になるなどです。しかし、ある程度絞り込むような形にしたほうがよい気もしますが、事務局はいかがでしょうか。

○**企画調整係長** 総合計画は全般のことを書くので総花になりやすいといえます。全部をバランスよく書けば面白味がなく、市の名前だけ変えればどこの市町村でも通用するような計画になってしまうという批判がある中で、少し特徴を持たせようという意図で今回このように出させていただいています。

○**委員** 括弧と黒丸で行政の取組と市民の取組を分ける必要はないと思いますし、行政の取組だけでは笑顔あふれるまちはできないという断りを入れる必要はないかと思います。

また、加茂市に暮らす人だけでなく加茂市を訪れる人にも笑顔があふれるまち、という視点を大切にしてほしいと思います。

○**議長** 『また、行政の取組だけでは、「笑顔あふれるまち」はつくれません。』の一文は必要でなく、「市民一人ひとりが～」から始めればよいということですか。

○**委員** さらに、「訪れる人も笑顔になれるように」と表現を加えるとわかりやすくよいと思います。

○企画財政課長 多数のご意見をいただきましてありがとうございます。(1)、(2)の部分など、表現がわかりづらくならないように事務局で見直します。

○委員 一言だけよいでしょうか。健康ということと教育や文化を大切にすることには順序性があると思いますので、この(1)、(2)という記号は大事だと思います。

○委員 今までの議論とは違いますが、加茂市に暮らす人と加茂市を訪れる人に加えて、「加茂市で働く人」を入れてほしいと思います。

○議長 「加茂市に暮らす人、加茂市を訪れる人、加茂市で働く人、すべての人に～」と直すということでしょうか。

○委員 表現についてはお任せします。外から来て働いている人もいるかと思いますが、提案いたしました。

○議長 今日いただいた意見を事務局でもう一度整理したいと思います。今日いただいた意見を基に修正案を作りますが、その後パブリックコメントを求めますのでまた修正が入る可能性があります。

○企画財政課長 修正案をパブリックコメントに出ささせていただき、パブリックコメントに対する回答を審議会にお諮りしますので、そこでまた修正が入るような流れになるかと考えています。

○議長 まちの将来像については皆さんからいただいた意見を含めてまた修正をすることによって、よろしくをお願いします。

○議長 次に4ページ目の「2.まちづくりの基本目標」に移りますが、見ての通りそれほど修正が入っていません。皆さんからいただいた修正のご意見もそれほどなかったということですが、ここで何かご意見はありますか。

○委員 3ページ目と4ページ目が見開きになりますので、将来像と基本目標が同時に目に入るような形になりますが、その際、将来像と基本目標が非常に近いものとして見えるように感じます。将来像があって、それを実現するための基本目標があるという構成がわかりづらいうように思いますので、「まちの将来像を実現するため分野ごとの基本目標を次のとおり定めます。」の文をもう少し大きくするとよいと思います。

○委員 わかりやすくすることであれば、図を付けるのはどうでしょうか。まちの将来像の下に基本目標があるという総合計画の構成図を入れるとわかりやすくなると思います。

○議長 入れるとすれば1ページ目でしょうか。事務局はいかがでしょうか。

○企画財政課長 そのような図を入れられるか、また、単純に文字を大きくするなども含めてわかりやすくなるように検討したいと思います。

○議長 内容はどうですか。

○委員 (3)の生活・環境、生活基盤で、「災害に強く安心して生活できるまちをつくります。自然環境に配慮したまちをつくります。」とありますが、具体的にどのようなことでしょうか。先日の分科会でも発言しましたが、山林や田畑を守っているのは農家の方々です。

自然を守り災害を防ぐということはそういった方々が行っていることであって、市民全員ができることなのか疑問に思いました。

○**企画財政課長** 農業や森林も含めた広い意味での防災に関するご意見かと思いますが、この部分では比較的ストレートに防災というものを捉えて記載しています。

○**委員** 山や河川、海といったものを具体的に提示し、そういった環境をつくらなければ災害が起こるということを伝えることも必要ではないかと思います。

○**議長** ここに入れ込むのは難しいかと思いますが、「治山・治水」という文言を入れるかどうかでしょうか。

○**委員** 「自然環境」という言葉が出てきていますが、それを維持できるのかということや、それを誰が守っているのかについての意識を持っていただきたいということで、お話をさせていただきました。

○**企画財政課長** 農林水産業のところで、防災の役割があるということを表現できるかを検討したいと思います。

○**議長** ここは基本目標で、もし入れるとしたらそれほど長くない文言になるので、ここで表現するのは難しいかもしれません。

○**企画財政課長** 基本計画の中に盛り込むことは可能かというところではありますが、ここで明確に分かるように表現するのは少し難しいかと思います。

○**委員** 皆さんそれぞれの分野で、ここに盛り込みたいことはたくさんあるかと思います。基本計画はこの6項目を基にさらに細分化されて計画が出ていますので、今日いただいたこの骨子案のように、例えば(1)子育て・教育であれば「未来を担う子どもたちが夢と希望にあふれ育つまち」というようにして、敢えてその後の1行、2行の説明はなくすというのはいかがでしょうか。

○**議長** 今の意見はいかがでしょう。

○**委員** 私もそれがよいと思います。他の分野でも同じように様々な意見が出てくるのであれば、ここは逆にシンプルにして基本計画でしっかりと書けばよいと思います。

○**議長** 事務局はいかがですか。

○**企画調整係長** 青枠の部分だけでわかるのかが一番心配なところではありますが、意見として承りたいと思います。

○**委員** この文章は青枠で囲まれたテーマを補足するためのものに見えますが、補足であることがわかるような表現をしなければ単に同じ内容を繰り返しているだけに捉えられるのではないかと思います。

○**委員** この基本目標はそれだけでもわかりやすいものなので、下の文章は必要ないと思います。詳しい説明は基本計画でしますので、ここは余計な説明を入れずにシンプルにしたほうがよいと思います。

○**議長** このまちづくりの基本目標については青枠の部分だけでよいという意見が出ましたが、それでよろしいでしょうか。



○委員 下に文章があるとかえって何が書いてあって何を意味しているのかという話になるかと思いますが、なくてもよいかと思います。

○議長 事務局はそのようにお願いします。

○議長 続いて5ページ目「第2章 まちづくりの推進」に移ります。修正が入っていますが、この第2章についてご質問やご意見はありますか。

○委員 「2.(2) 証拠に基づく政策立案の推進」で、証拠よりも根拠のほうが理解しやすい気がします。

○議長 直訳すると証拠になります。言葉としては証拠となっていて、evidence は根拠とは訳さないのですよね。

○企画財政課長 わかりやすい日本語という観点で検討したいと思います。

○議長 他にありますか。

○委員 第2章は不要だと思います。推進する考え方を定めると前文に記載した上で「人口減少に対応できるまちづくり」というのは、掲げていることと実際の内容に少し乖離があるかと思います。これはまちづくりを行うにあたって、市民に対してお伝えしたいことでしょうか。

○企画財政課長 以前は基本方針という表現をしていましたが、それがわかりにくいご意見が多数ありましたので、こういった表現に変更しました。先ほど委員から違和感があるというご意見をいただきましたが、今までこういった視点があまりにも欠落していたのもあり、大前提として大事なものではないかということで、それを明確にするために記載しています。

○企画調整係長 一般的にはおそらく「選択と集中」という表現を使っているところが多いかと思います。

○委員 この章で記載されることは、まちづくりを進めていくうえで心がけることやキーワード、あるいはポイントだと思います。連携と協働が必要だということはわかりますが、「人口減少に対応できるまちづくり」というものが少し広すぎるので、次のようにするとよいかと思います。

まず1.で連携と協働を心がけること、行政単体ではなく市民全員の考えで進めていくという連携と協働を示し、次に2.で経営視点で行う、成果を出せる行政運営を示し、最後に3.で証拠や根拠となるデータに基づく政策立案を行うことを示します。

この3つをポイントとして、物事を計画したり切ったりしていく書き方がすっきりすると思いました。「人口減少に対応できるまちづくり」はそれだけで巨大なテーマなので、それが唐突に出てくるのではなく、それを進めていく上でこの3つがポイントであるということを並列的に書くとよいと思います。

○議長 人口減少に対応できるまちづくりというと、この(1)と(2)だけでなく、さらにあるということです。事務局としてはいかがでしょうか。

○企画調整係長 2章を「人口減少に対応できるまちづくり」というようにして、「連携と

協働]、「経営の視点を持った行政運営」、「証拠に基づく政策立案」のように3つ挙げるとい  
うことでしょうか。

○委員 人口減少は必要ないと思います。ここではまちづくりのポイントとして3つ挙げ  
ればよいと思います。人口減少は社会状況の変化など、後のところで出てくると思います。

○議長 事務局は一考をお願いします。

続いて6ページ目「第3章 社会経済状況の変化と加茂市の特性・課題」に移ります。前  
回の審議会や市議会での意見を受けて加筆がされていますが、いかがでしょうか。

○委員 「1.人口減少と少子高齢化」で、加茂市の出生数が年間130人程度で推移と書いて  
ありますが、現在は130人もいないかと思っています。人口は速報値を入れるとのことですが、  
こちら速報値を入れたほうがよいのではないのでしょうか。

○企画財政課長 直近では120人程度ですが、年によって多少上下することを踏まえ、5年  
平均ということで130人と記載させていただきました。また、減少傾向にあることは間違  
いありませんので、その旨も記載しています。

○委員 130人からそれほど離れていないのであればよいかと思っています。ただ、速報値はあ  
ったほうが親切かと思っています。

○企画調整係長 ここは10年間の中で大体の年間出生数を把握し、傾向を知っていただく  
という意図で書いてありますので、ご理解をいただきたいと思っています。

○議長 他に何かございますか。

○委員 「4.財政の深刻化」で、前回に他の方もご指摘されていたかと思いますが、「財政  
が硬直化しています」はわかりやすい表現になりませんか。1回読んだだけでわかるような  
柔らかい表現がよいと思います。

○企画財政課長 財政の用語でわかりにくいかもしれませんが、経常収支比率と硬直化はセ  
ットで出てくることも多いのでこういった表現をしましたが、もう少し柔らかい表現を検  
討したいと思います。

○委員 7ページの自助・共助・公助にイメージ図が載っていて、わかりやすくなってよい  
と思います。また、Society5.0にも図があり、皆さん親しみやすいと思います。

○議長 何点かご指摘をいただきましたので、事務局はよろしくをお願いします。

次は「4章 市民意識調査」です。ここでは市民アンケートと中学生アンケートの一部を  
掲載しています。また、12ページでは市民ワークショップの日時やテーマなどを掲載して  
います。この第4章についていかがでしょうか。

○委員 書き方について、これまで(1)、(2)を使っていたところが、ここでは(ア)、(イ)  
になっているのは何か意図があるのでしょうか。

○企画調整係長 この部分について(1)、(2)だと数字を多用することになり、わかりづら  
いので直したほうがよいという意見をいただき、ここだけ直したので(ア)、(イ)になって  
います。

○委員 そういった意図があるのであればよいと思います。

○委員 12ページの「2.市民ワークショップについて」ですが、ワークショップ各回の内容をどこかで確認することができますか。

○企画調整係長 ホームページに報告書を掲載していますので、そちらをご覧ください形とっています。

○委員 ワorkshopに参加された方は自分で申し込まれたのでしょうか。どのような方が参加したのかがわかる一文があるとよいと思いました。

○企画調整係長 既に募集は終わっていますが、ホームページに募集要項を掲載しています。どのような方が参加したのかというのは、性別や年齢ということでしょうか。

○委員 いえ、公募したということと応募資格を記載する程度で十分だと思います。参加したいという積極性のある方が応募して参加したということを示せばよいと思います。

○企画財政課長 そういったことがわかるよう、検討したいと思います。

○議長 もし、アンケートを見てほしいのであればURLを記載するのもよいかと思ひます。

○企画調整係長 URLが頻繁に変わりますので、それが問題になるかもしれません。

○企画財政課長 アンケートは資料編に詳しく掲載するので、そこにURLなどを記載するほうが自然かもしれません。その辺りも含めて工夫したいと思います。

○議長 他に意見等ございますか。

○議長 基本構想案はこれで終了したいと思います。いくつか修正のご意見をいただいていますので、事務局で検討し、後日パブリックコメントに出すまでに案を修正していただきたいと思ひます。パブリックコメントを実施し、そして次回の審議会では修正案を提示していただくようお願いします。

皆さん基本構想については以上でよろしいでしょうか。

○委員 1つだけ確認をさせていただきます。1ページ目の「3.総合計画の構成」について、5年で計画を見直すことになっているかと思ひますが、世の中の情勢を見て期間が早まることはあるのでしょうか。

○企画財政課長 どのような形で見直しを行うかということは、この後の基本計画のところで出てきますので、そこでまた説明をさせていただきたいと思ひます。基本計画のさらに下の実施計画においては相当細かく見直しを行うこともあります。今回は実施計画まで作りませんので、細かい見直しまでは今のところ想定しておりません。

○委員 基本構想が10年、基本計画が各5年というのは確定しているということですか。

○企画財政課長 何かを行うとき、短いスパンですと目標の達成が困難になることがあります。自治体によっては首長の任期の4年に合わせているところもありますが、ある程度期間が長くないと施策を行っていけないのではないかということで、基本構想が10年、基本計画が各5年という期間を設定しました。

○委員 会長の最初の話にもありましたが、これだけ世の中が変わっていくということを考えると、初めから5年という期間を決めてしまうよりは柔軟に修正できるようにしたほうがよいのではないかと思ひます。

○**企画調整係長** 基本構想は議決が必要なので簡単にはできませんが、基本計画は後期計画を策定する際に5年は長いので、次は3、4年などの期間にしたほうがよいという話は出てくるかと思います。

○**委員** 市長が変わっても、基本構想、基本計画は変わらないですか。

○**企画財政課長** 基本構想も10年ということで議決を取りますが、議決により変更もできますので、市長が変わって期間が見直されることもあり得ます。

○**議長** この基本構想と基本計画はどのように予算を使うのかということを示すものであり、そこでは首長がどう考えているかということが大切になってきます。そのため首長の任期に合わせて期間を設定するという考え方があるわけです。

○**議長** それでは、これで基本構想については終わりにしたいと思います。

15時00分 再開

○**議長** 基本計画（素案）について審議を始めます。事務局の方から説明をお願いします。

[事務局が説明]

○**議長** 基本計画の素案について、みなさんにお諮りしたいと思います。まず、1ページと2ページは計画の概要です。

○**委員** 1ページの2030年の21,696人は加茂市の人口だと思いますが、注釈を入れて加茂市の人口とわかりやすくしたほうがよいと思いました。

○**委員** 2ページの計画の進行管理と見直しですが、有識者などの外部評価を取り入れて総合的に判断するということですが、判断した結果は毎年度公表されますか。

○**企画財政課長** 初めての取組ですので、細部についてはこれから詰めていきますが、このような手法で進行管理を行うというところです。指標は毎年確認しながら進めていきます。また、有識者会議にするのか審議会にするのかを含めて検討していきます。

○**委員** 市民にその状況を毎年度、公表しますか。

○**企画財政課長** 毎年度ではなく、中間報告での公表を想定しています。

○**委員** 1点修正です。巻末3ページの3月18日のところを「分科会2」ではなく、「分科会1」に修正をお願いします。

○**企画財政課長** 修正します。

○**委員** 施策という言葉が違う言葉に変えることはできないでしょうか。市民のみなさんにとって伝わりやすい言葉がよいです。施策という言葉は適切ではないと思います。

○**議長** 例えばどのような言葉ですか。

○**委員** アイデアの柱など。

○**企画財政課長** 一般的な行政用語でいきたいと思っています。

○**委員** わかりました。

○**委員** 見やすさについてですが、1ページの図1の白抜きの字が見にくいです。巻末11

ページも黄色の白抜きが見にくいです。はっきり見える色にしてもらいたいです。

○**企画財政課長** ご意見を参考に検討します。

○**議長** 次は分野ごとの施策についてです。2-1 施策の体系、2-2 施策の見方の説明です。

○**委員** 3 ページの「未来を担う子どもたちが夢と希望にあふれるまち」ではなく、「未来を担う子どもたちが夢と希望にあふれ育つまち」に文言を統一してください。

○**企画調整係長** 確認して直します。

○**議長** 次は分野別施策についてです。目次を見てもらいたいと思います。基本目標 1 の（子育て・教育）は 1 ページから 8 ページまでです。①子育て支援②結婚・妊娠、出産③学校教育④学校施設に関して、みなさんにお諮りしたいと思います。ご意見、ご質問はありますでしょうか。こちらは分科会、委員会を経て、加筆修正してあります。

○**委員** 子育て・教育の分科会に参加しました。子育て支援の 2 ページ目を見ると、文言が整理されていて非常によいと思いました。一番嬉しかったのが、施策 1 の子育て支援・相談体制の強化の指標「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」で、以前は現状 55.6%で R7 の目標が 58.0%でしたが、今回は目標が 70.0%に大幅に上がっていて、とても意気込みが感じられました。

○**議長** 他のページはどうですか。

○**委員** 4 ページの施策 1 の展開で大幅に文言が省かれていますが、理由を教えてください。

○**企画調整係長** 結婚についてはかなり幅が広がりますので、出会いの創出に絞って取り組んだほうがよいのではないかとの意見がでましたので、その通りに直しました。取組もすぐにできそうなものにポイントを絞って見直しました。

○**委員** 分科会に参加して、意見をお伝えしたのですが変更されていない点が 2 点あります。市の対応・考え方も読んだのですが、腑に落ちない部分があり、言わせていただきます。1 つは 1 ページの子育て支援のところで、現状の一番の上の中学生アンケートと市民アンケートが最初に上がっていますが、これは主観的な評価なので、まずは現状ということで客観的な事実を記載した後、それに対する評価としてアンケート結果を記載するという順番が自然ではないかと思います。先にアンケート結果の数字を出してしまうと、そのイメージで読み進んでしまうので、まずは客観的事実を並べてアンケート結果を最後に記載するのが論文の展開としてはよいと分科会ではお伝えしました。順番を変える必要はないと考えますとの答えでしたが、回答がよく理解できませんでした。

○**企画調整係長** アンケートが主観的と言うのは、個人の考えを答えているから主観的という考えですか。

○**委員** はい。例えば、「子育て支援センターを 2 か所設置されている」は客観的な事実です。それに対する評価がアンケートだと思いますので。

○**企画調整係長** アンケートを主観的なものだと言われると、様々なアンケートの前提が崩れるのではないかと思います。

○議長 アンケートは社会調査です。調査の結果として出ているデータは使えますが、客観的かどうかは難しいです。

○委員 調査して出た数値が客観的事実であり、それに答える内容は主観的な評価です。施策を考えていくにあたって、まずは客観的現状を把握するのがセオリーと思います。他の章ではアンケートが後ろにあるのに対し、ここだけアンケートが冒頭にあることに違和感がありました。まずは現状どのようになっているのかを記載し、それに対するみなさんの評価を記載するという方が自然な流れと思います。どうしてもアンケートを冒頭に挙げたい理由があればお聞きしたいです。

○企画調整係長 子育てを様々な施策の中で最初に持ってきていて、施策の展開でも子育て支援が右上にきていますので、市民の方がそれだけ大事に考えているというのをまず挙げ、市としても大事にしていきたいということでこのようにしています。

○委員 おっしゃることは分かりますが、そうすると数値としては低いですよ。20%と26.4%は1/4、1/5の人と捉えられると思います。これが8割、9割の数値であれば、みんなが重要視していて、それを冒頭に持ってきたと理解できます。読み方によっては、大半の方があまり重視されていないととれますよね。

○委員 今の委員のところですが、現状の1つ目の、加茂市が子育てにやさしいまちになるとよいと考えている方が20%というのは、ある意味マイナスな評価として受け取っていました。すなわち20%しかいないという現状で、その現状をどういう風にとっていくかという受け取り方をしていました。

○議長 現状のところ、市内2カ所の子育て支援センターについての記載を上を持ってくるといえることですか。

○委員 いえ、中学生アンケートと市民アンケートを下に持っていくということです。

○企画財政課長 現状と課題は位置がリンクしているので、配置については検討させていただくということよろしいですか。

○委員 はい、ありがとうございます。

もう1つは、現状の「市内2カ所で子育て支援センターを運営し、子育てに関する相談や情報提供、親子遊びの場を提供しています。」のところですが、親子遊びの場の提供が現状としてはメインとなっており、相談とか情報提供は附随するサービスとして行われているのが現状だと思うので、「親子遊びの場を提供しており、子育てに関する相談や情報提供を行っております」が現状に合った表現かと思います。

これは私の主観だけでなく、育ちあい応援グループで2018年に加茂市の子育て環境に関する調査を行いました。その調査の中で、子育て支援センターで相談しにくい、専門相談員がいてほしいとの意見がありました。現状、あまり相談できる体制ではなく、1人の職員で運営しており遊びの場を見守るのが精いっぱい相談業務などはできないのが現状です。現状に合わせた形に変えていただきたいです。

○企画財政課長 検討します。

○議長 他にありますか。

続いては健康・福祉です。①健康・医療②障がい者・障がい児福祉③高齢者福祉の9ページから14ページです。これについてご意見・ご質問ありますでしょうか。

○委員 14ページですが、高齢者の生活支援が施策1になっていたのを入れ替えた理由は何かですか。

○議長 施策1と施策3を入れ替えたということですか。

○企画調整係長 現状と課題と展開の順番を揃えるようにしているので、担当にも確認した結果、このような優先順位になりました。

○委員 わかりました。

○委員 10ページの地域医療で、R7の指標のところに「減少させる」とありますが、他の指標は数値目標があるので、これも数値目標にできないのでしょうか。

○企画調整係長 何をどうすると何%下げられるか考えづらいのもあり、減少させることを目標とするということで、このようにしてあります。

○委員 なかなか数字がないとそれも難しいのではないかと思いますので、1つの意見としてご検討いただきたいと思います。

○議長 具体的な数値があったほうがいいです。

○企画調整係長 たとえば半分以下にするなどでしょうか。

○委員 そうです。

○議長 数値を検討することをお願いします。

○議長 他にご意見ありますか。

○委員 10ページの施策3の展開方針のところに「医師会、歯科医師会、薬剤師会等医療関係者」とありますが、団体と個人が混ざっているので、医療関係者を抜いたほうがシンプルだと思います。

○企画調整係長 担当者の意図を確認して検討します。

○議長 次は生活・環境、生活基盤です。①防災・減災②消防・救急③防犯・交通安全④生活環境⑤住環境⑥道路・公共交通⑦水道水の供給⑧污水処理の推進の15ページから30ページまでです。ご意見、ご質問はありますか。

○委員 16ページの施策1の指標「自主防災組織 結成率」がありますが、現状が0%ですが、昨今できていると思います。2、3個できていると思います。

○企画財政課長 令和2年度が基準になっていますので確認します。

○議長 他はありますか。

○委員 どこに入れるべきかという問題はあると思いますが、GIGAスクール構想によってタブレットを1人1台、加茂市の生徒に配布しております。学校のWi-Fiは非常に充実していますが、各家庭に持ち帰る想定をしたときにWi-Fi環境に格差があります。市がWi-Fi環境が整っていない家庭へのルーターの貸し出しなど、環境が整うまでの支援を考えてもらいたい。この先必ず直面する課題ですので、学校教育や学校施設、生活環境、芸術文

化のどこかに入れてほしいです。

○議長 4つのどこかに入れるかですか。

○委員 23、24 ページの住環境の施策 2、快適な住環境の展開方針のところの「バリアフリー・ユニバーサルデザイン化を進め」のあたりにデジタル化を入れればよいのではないのでしょうか。

○企画財政課長 学習環境における家庭の Wi-Fi の位置づけでしょうか。それとも違う位置づけでしょうか。

○委員 学習環境における家庭の Wi-Fi 環境になります。

○企画財政課長 今、学習環境における家庭の Wi-Fi については、個々には難しいので、公共施設のコミセン等で Wi-Fi 環境整備を行っています。教育委員会でさらにその先の議論が進んでいるということであれば、事務局はそれを含めた検討はまだ行っていません。

○委員 そのような話が出ているわけではなく、私の個人的な希望からの意見です。

○企画財政課長 今までその取組をしている市町村もあります。ただ加茂市は個々が難しい中で、公共施設のコミセンを使つての取組をしています。

○委員 ありがとうございます。

○委員 5 年先、10 年先というと教育環境の整備というところで、課題として現状と課題に入れてもいいと思います。

○企画財政課長 学習環境の Wi-Fi ということであれば、教育委員会と検討が必要です。

○委員 子ども達のタブレットを用いての学習は、現状では学校から持ち帰らず、学校で学習することとなっています。しかし、基本的には家に持って帰れるツールであるべきだと私は思います。また、委員がおっしゃった学習に向けての Wi-Fi 環境もあると思いますが、実際にこれからデジタル化が進む中で、シニアの方も扱えるような見通しを立てていくのも大事だと思います。子どもの学習に固定したのではなく、誰もが使える流れを考えていったほうがいいかなと思います。

○委員 私は反対です。そこまでいくとインフラ整備として広くなりすぎるので、あくまでも教育環境に格差ができないように教育に絞ったほうよいと思います。個人的な利用は個々のお宅で Wi-Fi 環境整備をするなどでよいのではないかと思います。教育上 Wi-Fi 環境やネット環境に差が出ないように行政が責任を持ってやるべきだと思います。

○議長 教育のインフラ整備に入れた方がよいのでは。

○委員 5 ページの学校教育の課題の上から 3 番目にあるので、加えればよいのではないのでしょうか。

○企画財政課長 教育委員会にお話してみます。

○委員 ありがとうございます。

○議長 そのほかに何かありますか。

次に芸術・文化、スポーツ、自治・人権です。①生涯学習②芸術文化・文化財③スポーツ④市民協働・地域コミュニティ⑤人権・多文化共生の 31 ページから 40 ページまでです。



ご意見・ご質問ありますか。

○委員 36 ページのスポーツ施策 1 スポーツ参画人口の拡大の主な取組で、新体操教室・水泳教室の運営が具体的に入っていますが、現状でスポーツの競技によって施設の充実度合やサポート体制が違っていると感じています。どのようなスポーツも応援できる環境づくりを盛り込んでほしいです。

○企画調整係長 課題の上から 3 番目の文を少し見直します。

○委員 35 ページのスポーツの現状の一番下に、避難所としての利用を強化とあります。これを 15 ページの防災・減災のところに入れてはどうかと思います。分科会では話がなかったもので、せっかく取組としてやっているのであれば現状に入れた方がよいと思いました。

○企画財政課長 避難所の指定は体育館だけではなく、他にもあります。

○委員 そこはお任せします。

○議長 よいことだから入れた方がよいと思います。

○委員 20 ページの防犯・交通安全の施策 1 の展開方針はよいことが書いてありますが、実際はそうではありません。たとえば、防犯カメラについて、西加茂地域は公共施設がたくさんあり、そのうえ国道、県道があるので犯罪者が入りやすく、出やすいのですが、その中で防犯カメラが設置されているかということと設置されていません。区長会で要望しても設置されていません。また、小学校、中学校の見守り活動を行っている人は高齢者ばかりですが、もう少し若い人達が参加しやすいようにしてもらいたいと思います。

もう 1 つは学校施設についてです。西小学校がなくなると、地域が寂れていく。学校の整理統合もよいですが、地域の発展をどのようにして守るのかを考えていかなければならないと思います。

○議長 学校がなくなると、地域の象徴がなくなりダメージが大きい。その先は学校をどのように利活用するかが問題となってきます。しかし、耐震性がないのがネックになるかと思えます。

○企画財政課長 統廃合は今年度、来年度に学校の適正規模についてどのように判断するかという話し合いを有識者の方を中心に行います。また、西小の有効利用について地元から要望がありますのでこれからの課題になってきます。

それから、防犯カメラについては区長会から強い要望がありますので、今年度の設置は加茂駅前、西口、マクドナルドの交差点になります。順次、要望を聞きながら進めていきたいと思えます。

○議長 取り入れるとすると、38 ページの地域コミュニティの施策 2 地域コミュニティ活動への支援と連携の展開方針のところにも再利用と利活用を入れればよいのではないのでしょうか。学校がなくなっても地域のコミュニティは維持するなど。

○企画財政課長 学校がコミュニティの象徴となっているのは言われていますので、利活用については丁寧に取り組んでいきたいと思えます。

○議長 他にいかがでしょうか。

○委員 言い逃したところがあり、10ページの健康・医療の施策3の地域医療です。展開方針で「地域医療体制の維持・充実に努めます」「地域医療の現状を市民へ広く周知する」と書いてありますが、実際は、設備がないなど様々な事情で、休日当番医に連絡しても受診できない状況が加茂市で起こっています。どの医者でどういうことができるか、例えば熱に対応できる、熱に対応できないので県医師会にお願いするなど、地域医療でできることの情報提供を入れてほしいです。

次に32ページの生涯学習の施策3図書館サービスの充実です。今、市外の図書館ではデジタル書籍以外にも様々なことが行われています。加茂市でもボランティア事業をしていますが、市民が知っている情報についてのワークショップをやっていただければと思います。市民が参加できる図書館の施策を方針に加えてほしいです。

○委員 37ページの市民協働・地域コミュニティの課題3つ目の「地域を支える多くの高齢者～」がありますが、先ほど、高齢者ばかりがボランティアに参加しているという意見がありましたので、高齢者に限定せずに市民に変えたほうがよいと思います。

○企画財政課長 検討します。

○委員 15ページの防災・減災について、加茂市ではハザードマップを作成していますが、近郊では加茂市だけ防災訓練をしていません。やはり、避難場所が書いてあっても、現実、防災訓練をして避難訓練をした試しがなかったので、これをやっていただけたらよいと感じました。

次に17ページの消防・救急です。消防団は若い方が地元にはいないということから少ないです。女性消防団員もなかなかいないと思います。ただし、消防団は地域を守っている方であり、火災になれば出動しなければならないので、人員確保は今後も取り組んでいただけたらと思います。

○企画財政課長 防災訓練は議会でも話があり、自主防災組織を組織していくのと合わせて行っていくという話が出ています。また、防災訓練の実施について計画でも触れてあります。

○議長 次は産業・雇用、都市の魅力創造です。①魅力あるまちづくり②商工業の振興③中心市街地の活性化④農林水産業の振興の41ページから48ページです。施策の順番を変えています。ご意見、ご質問はいかがですか。

○委員 流れがよくなったと思います。やはり魅力のあるまちに向かっていくところで、商工業の振興があったり、中心市街地の活性化があったり、農林水産業の振興があると位置づけてあるので、読み手としては流れがよくなってありがたいと感じました。ただ、それに伴ってページの上の白抜きの「産業・雇用、都市の魅力創造」を「都市の魅力創造、産業・雇用」に変えた方がよいと思いました。

○議長 事務局は修正をお願いします。その他に何かありますか。

○委員 42ページの魅力あるまちづくりの施策の展開3「関係人口の拡大」ですが、何を指しているかわかりづらいです。もう少しわかりやすく書くことはできませんか。

○企画調整係長 国の取組の1つとして関係人口の拡大があり、関係人口は数値として把握することができません。

○議長 8人はどこからきていますか。

○企画調整係長 関係人口づくりに関する事業の参加者を数えています。明確に数えられる人を数えています。

○委員 地方創生事業の中ででてきた関係人口ですか。

○企画調整係長 はい。

○委員 47 ページの農林水産業の振興についてです。市内の有害鳥獣による被害の防止に取り組み、人の安全と作物の収穫を考えて進めていただきたいです。

○企画財政課長 電気柵などは今年度から取り組んでいますので、今後とも引き続き取り組んでいきます。

○委員 JA にいがた南蒲も山間地の地域がありまして、同じ問題が非常に多く見られ、市町村からも農協からも補助をして駆除対策や電気柵等に力を入れています。

根本的な問題は人間が山に入って手入れをしなくなったからです。限界域を超えて、動物が里まで下りてきているのが現状ですので、そういったことも考えていかなければいけないと思います。また、ハンターがいないことも大きな問題であると思います。

○委員 46 ページの中心市街地の活性化の施策の展開 2「空き店舗対策の推進」です。見回りをして何とかしてもらいたいです。

○企画財政課長 24 ページの住環境で空き家バンク、危険な空き家についても触れています。

○委員 44 ページの商工業の振興の施策の展開 2「就業環境の整備」です。指標が高卒者の県内就職率となっています。加茂市にもいくつか高校があると思いますが、加茂市の高校の卒業生の加茂市内の企業の就職率を入れたほうがよいのではないかと思います。ここは県内でよいのでしょうか。

○議長 確認します。

○議長 最後は行政活動です。①財政運営②行政運営の 49 ページから 52 ページのところに関して、ご意見やご質問はありますか。

○委員 要望ですが、市役所に行くと笑顔が溢れ、あいさつが飛び交っていて、こちらも元気になるような雰囲気づくりに取り組んでいただきたいと思います。

○企画財政課長 全庁的に取り組んでいきたいと思っています。

○委員 50 ページの施策の展開 1「財政の健全な運営」の主な取り組みの中で PPP/PFI の積極的な導入・推進を削除した理由はどういったことですか。

○企画調整係長 今後5年間で想定されるものがないので削除しました。

○企画財政課長 当初、今後取り組むべきものと考え記載しましたが、前期の計画で具体的な取組がないので削除しました。削除はしましたが、今後、取り組むべきと考えております。

○委員 課題のところに移すなどはしないのでしょうか。

○企画財政課長 検討させていただきます。

○議長 他にございますか。

○委員 50 ページの財政運営の施策の展開3「自主財源の確保」です。指標にふるさと納税がR7で10億円とあります。この目標数値の達成に向け、返礼品等どのような考えがありますか。

○議長 3.6億円は去年の数字ですか。

○企画財政課長 はい。商品の充実、PRの仕方、様々な取組を積み重ね、目標を含めて担当者の意気込みとして設定してあります。

○委員 私はその分科会におりまして、同じ質問をしました。ここに回答がありますが、現状の伸び率から達成できると強気に断言されていました。

○委員 企業版ふるさと納税は一切含まれていませんか。

○企画財政課長 企業版ふるさと納税も考えています。ただし、全国的に話題となっているのが、企業版ふるさと納税が相当進んでいません。企業へのインセンティブが少ないことから、国が何かしらの取組を検討しています。具体的にどういった手法であれば企業にメリットもあり、加茂市にふるさと納税をしていただけるのかが課題となっています。これは加茂市だけではなく、全国的な課題です。

○委員 ありがとうございます。

○議長 他にいかがでしょうか。

それでは次に資料編です。資料編として総合計画の基本計画の最後の巻末になります。

○委員 資料の最後の指標一覧表ですが、「区分」という項目があると思いますが、1つ以外は全て主要となっているので、あまり必要性がないと感じます。代わりに対応するページ数を入れたほうが読む人にとって親切だと思います。

○企画調整係長 検討させていただきます。

○議長 これですべて皆さんに見ていただきました。今日いただいた意見や質問を踏まえて、修正した段階でパブリックコメントにより市民の方に意見を求めます。また、今までに発言していただいたものの他に意見や質問がある場合は事務局に連絡していただきたいと思います。

○委員 1つだけよろしいですか。パブリックコメントについてです。意見を募る時にホームページ上だけではなく、SNS等を使いダイジェストのように各施策に一言いれて、詳細はホームページで見ってもらうように広く皆さんに周知する取組をしてもらいたいです。

○企画調整係長 「パブリックコメントをやっています」というお知らせですか。

○委員 本当は「パブリックコメントをやります」からしてもらいたかったのですが、時間もないので難しいでしょうか。それについてはあとでお話をしたいと思います。

○議長 事務局に進行をお返しいたします。

○企画財政課長 審議会でもいただいた意見を事務局で検討し、パブリックコメントを実施したいと思います。資料5 総合計画のスケジュールをご覧ください。今日が第4回の審議

会で、6月にパブリックコメントを実施しまして、その結果を7月下旬の審議会でお話ししたいと思います。本日は長時間にわたり大変ありがとうございます。お疲れ様でした。

17時00分 閉会